

《第1章つづき》

### ○高齢者が生きがいを持って暮らせる地域づくり

多くの高齢者は住み慣れた地域で安心して暮らしていくことを望んでいますことから、保健師等の町職員、地域包括支援センター職員、高齢者見守り相談員、社会福祉協議会、民生・児童委員等が連携を行いながら、在宅高齢者への福祉サービスを引き続き推進してまいります。

また、引き続き老人クラブの運営に対し支援を行うとともに、高齢者と言いましても、まだまだ元気な方々も多いことから、シルバー人材センター事業における就業機会確保・充実を図ってまいります。

また、介護老人福祉施設などの施設介護サービスにつきましては、住民が将来にわたり経済的負担を少なく施設へ入所できることに配慮し、引き続き施設整備に対する補助事業費を計上させていただきました。

### ○障害者が自立して生活できる地域づくり

障害のある方が地域の中で自立して自分らしく生活を送ることができるよう、医療・福祉などとの連携や継続的な支援相談体制が重要となります。

特に、障害者地域活動支援センターの充実が必要なため、令和元年度にJR鳩ノ巣駅前に建設を行い、円滑な運営と社会参加が図られるよう、引き続き推進してまいります。

### ○心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり

当町では、自治会や隣組などによる地域での支え合いや助け合いによる地域コミュニティの力は非常に強いものの、少子高齢化等の影響により、これまでどおりの地域での支え合いが困難となることも想定されます。地域ささえあいボランティア事業などを通じながら安心して暮らすことができるよう、強い地域の絆の維持を推進してまいります。

## 第2章「やさしさ ふれあい 人と自然」

### ○自然とともに歩むまちづくり

当町は、豊かな森林資源と水資源に恵まれ、町内全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれていることから、町の環境を適切に保全していくため、環境に配慮した循環型社会の形成に努めるとともに、生活基盤として重要な役割を持つ道路の整備や公共下水道へのさらなる接続の促進、簡易給水施設の安定的な維持管理を行います。

また、毎年5月30日の「ごみゼロの日」を中心に、住民皆さんにご協力いただいております、地域の一斉清掃も環境美化活動に尽力いただいているところであり、引き続き美化活動に支援を行ってまいります。

### ○誰もが住みたくなる心かようまちづくり

これまでも住民と行政との協働によるまちづくりを推進するために、住民が主体となったまちづくり活動への支援を行ってまいりましたが、引き続き住民がまちづくりへの参加ができるよう、取り組みを行ってまいります。

自然災害への対応としまして、地域防災計画の改定を行い、災害情報等の円滑な伝達のため防災行政無線戸別受信機の更新を引き続き推進してまいります。

## 第3章「町の中と外から関心を持たれる教育のまちづくり」

### ○みんなでチャレンジする生涯学習のまちづくり

文化会館や図書館などは生涯学習の拠点として活用されておりますが、一昨年10月から指定管理施設となっており、サービスのさらなる向上に向け適切に管理運営を支援してまいります。

また、他地域や海外の人材と積極的に交流できる機会を提供するため、友好交流を締結した神津島村での洋上セミナーのほか、海外との交流として、オーストラリアへの海外派遣事業及びホームステイでの受け入れ事業などを引き続き実施いたします。

### ○豊かな能力と強い心を育むまちづくり

各学校における施設や設備については、古里小学校の西側トイレ改修事業、古里小学校図工室エアコン設

置工事など、奥多摩中学校では水道直結化事業や特別支援教室等開設事業を実施し、児童・生徒が健やかに教育を受けることができるよう教育環境を整備いたします。また、外国語青年招致事業指導助手や放課後子供教室などを通じ普段から英語に触れ合える環境を整備します。

### ○誰もがスポーツ活動に参加するまちづくり

平成30年度に第1回を開催しましたスポーツフェスティバルにつきましては、住民のスポーツへの参加を促進し、健康増進につながるため、令和2年度も開催することとし、東京2020大会パラリンピック正式種目であるポッチャなどのニュースポーツにつきま

《次ページ左上へ続く》